

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	町内巡回バス運行事業				開始年度	平成13年度	
基本目標	交通基盤の整備				終了年度	未定	
担当課(局)	政策推進課	担当係	総合政策係	記入者	杉田 将也	評価者	森 弘道
20年度決算	3,473	千円	21年度予算	3,293	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	359 千円		21年度人件費	364 千円		事業従事者数	0.05 人 0.05 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	高鍋温泉と各地区を結ぶコミュニティバスを運行することにより、交通弱者の移動手段確保とともに温泉利用者の増加に資する。
事業の内容	平日(火曜日から金曜日まで)に、1日2路線を運行(全4路線)

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 利用者数	地域住民の交通の利便性。高鍋温泉の町内客の確保。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 委託料	サングリーン観光に委託し、巡回バスの運行を行った。
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	利用者数	目標値	11,000	11,500	12,000
		実績値	11,446	11,802	
		達成率	104.1%	102.6%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	委託料	目標値	2,873	3,473	3,293
		実績値	2,873	3,473	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	町内の交通弱者(特に高齢者)が温泉を利用するために必要な事業であり、廃止による影響は大きい。利用者のほぼ全員が温泉利用者であり、コミュニティバスとは言い難い状況はある。国土交通省の運行許可はサングリーン観光が取得しているため、路線や委託業者の変更に伴う新たな運行許可を得るには3か月程度かかる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	巡回バス利用者は、事業開始以来平均して年10,000人程度で推移しており、年々増加傾向にある。 温泉利用者には有益な事業。今後は、他の公共施設・医療機関など地域住民の交通の利便性向上を目的に、地方バス路線維持事業も含めた総合的検討が必要。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	平成19年度に運行路線を5路線から4路線に減少し経費節減を図ったが、燃料費の高騰により委託料が増加となった。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	なし。 福祉・保険制度等の活用も含めた総合的な検討を行う。その際には、ボランティアやNPO法人等との協働の可能性がある。

事務事業名	町内巡回バス運行事業	担当課(局)	政策推進課
-------	------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>町内巡回バスは、温泉だけでなく町内の主要機関や福祉・病院施設などを結んだ経路が確保されるなら、今以上の利用者増が見込まれると考える。路線バスの運行経路は以前から規制緩和の対象と言われているので、バス事業者の宮崎交通の出方次第では改善できる可能性もあり、陸運事務所、県等々との協議を進めてもらいたい。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				○
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	<p>◎地方バス事業の変更が巡回バス事業に影響するため、一緒に考えていかねばならない。</p> <p>◎「拡充」ならば、バスの台数増数が必要。</p>
	コスト	現状維持	